

第2期大野城 健康・食育プラン【概要版】

1 計画策定の趣旨

人生 100 年時代に本格的に突入する中で、誰もがより長く元気に暮らしていくための基盤として、健康の重要性はますます高まっており、健康づくりの取組をさらに強化していくことが求められています。

本市では、平成 26 年度に「大野城健康・食育プラン（第 2 次大野城市健康増進計画・第 2 次大野城市食育推進計画）」を策定し、市民一人ひとりが共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指して取組を推進してきましたが、令和 6 年度をもって計画期間が終了することから、今後も市民が主体的に取り組む健康づくり及び食育を推進するために、新たな計画を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、大野城市総合計画を上位計画とし、健康増進法第 8 条第 2 項に基づく「健康増進計画」と食育基本法第 18 条第 1 項に基づく「食育推進計画」を一体的に策定した計画です。「食育推進計画」には、六次産業化・地産地消法第 41 条第 1 項に基づく「地域の農林水産物の利用の促進についての計画」が含まれています。また、他の関連する施策や個別計画との整合を図りながら計画を策定し推進します。

（市の関連計画：大野城市保健事業実施計画（データヘルス計画）・特定健康診査等実施計画、大野城市いのちを支える自殺対策計画、大野城市高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画、大野城市教育施策大綱、大野城市地域福祉計画）

3 計画の期間

令和 7（2025）年度を初年度とし、令和 17（2035）年度を最終年度とする 11 年間の計画とします。

なお、大野城市総合計画や社会情勢の変化等に対応するため、令和 11（2029）年度に中間評価を実施するほか、大野城市総合計画をはじめ、他の関連計画との整合・調整を必要に応じ行います。

4 計画の推進体制

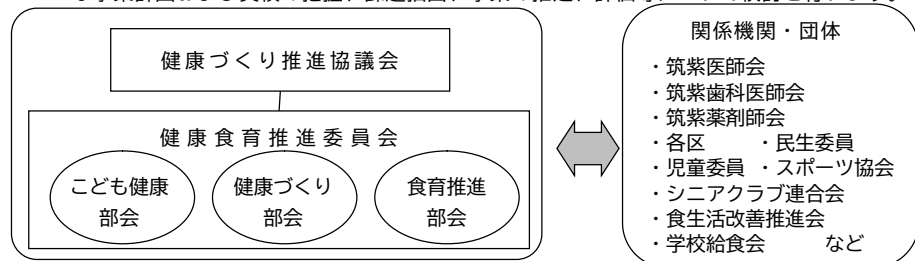
大野城市健康づくり推進協議会を中心に、健康食育推進委員会や食生活改善推進会をはじめとする健康関係団体の活動支援を図り、地域に根ざした健康づくりと食育を推進します。

① 健康づくり推進協議会

本計画の着実な推進を図るため、計画の実施状況等を総合的に評価するとともに、取り組みの課題などについて協議します。また、計画の進捗管理・マネジメント等を行います。

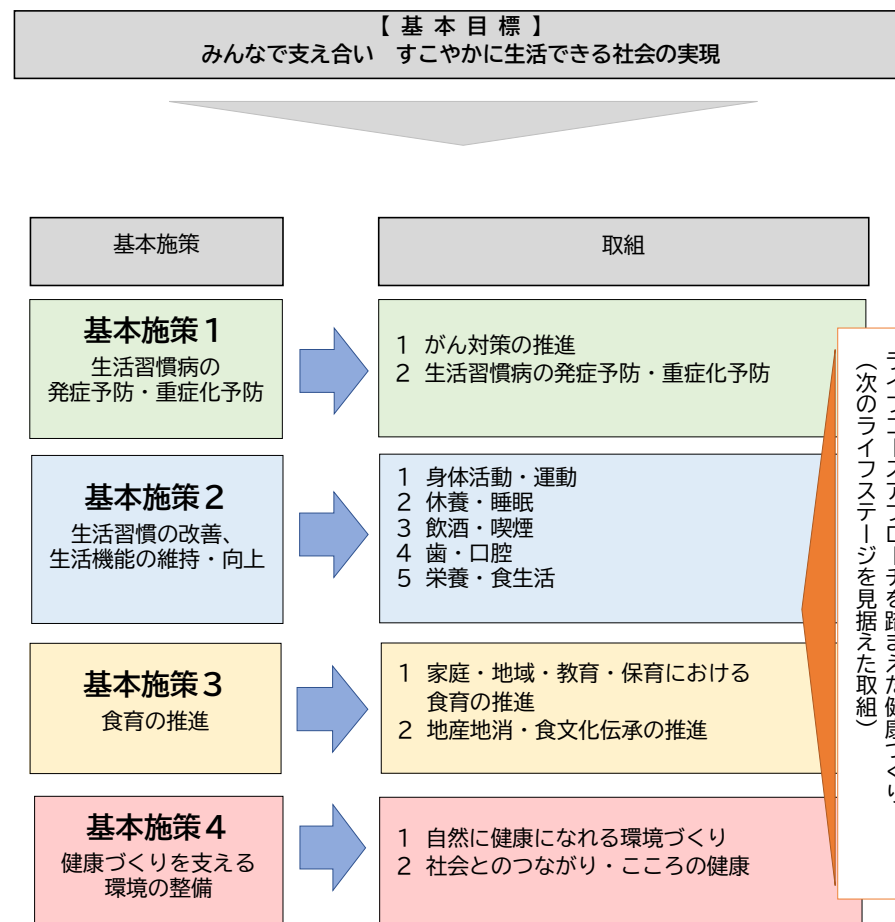
② 健康食育推進委員会

こども健康部会、健康づくり部会、食育推進部会の 3 部会で構成し、本計画に沿った具体的な事業計画および実績の把握、課題抽出、事業の推進、評価等について検討を行います。



5 計画の体系

本計画は、第 6 次大野城市総合計画後期基本計画の政策である「未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちづくり」「誰もが自分らしくすこやかに生活できるまちづくり」を目指して、「みんなで支え合いすこやかに生活できる社会の実現」を基本目標として掲げることとします。



6 施策の展開

目標設定の考え方

- I 前計画期間で目標値に及ばなかったもので、前計画の目標値のまま又は見直して設定
- II 前計画期間で目標値を達成したため、前計画の維持又は上回る目標値を設定
- III 本計画において新たに目標項目を設定したもの

基本施策1 生活習慣病の発症予防・重症化予防

目指す姿

かかりつけ医等で定期的に健（検）診を受けることで得る具体的な助言をもとに、自分の健康管理を適切に行い、健康状態を良好に保つ人が増加しています。

1 がん対策の推進

○がん検診受診率の向上に向けて、がん検診の重要性や受診方法についての周知啓発に取り組むとともに、検診を受けやすい環境整備に努めます。

数 値 目 標		現状値 (R5)	中間値 (R11)	目標値 (R17)	目標設定 の考え方
がん検診の受診率（％）	胃がん検診	11.4	12.0	14.0	I
	肺がん検診	4.0	6.0	8.0	I
	大腸がん検診	4.7	7.0	9.0	I
	子宮頸がん検診	15.5	17.5	18.5	I
	乳がん検診	19.1	21.5	22.5	I

2 生活習慣病の発症予防・重症化予防

○健診の受診率向上に向けた取組を推進します。

○健診の結果に応じた保健指導の実施や、治療が必要な人への受診勧奨を行い、重症化予防の対策を推進します。

数 値 目 標	現状値	中間値	目標値	目標設定 の考え方
特定健診の受診率（％）	40.1	44.0	60	II
特定保健指導の実施率（％）	54.1	60 以上	60 以上	II
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合（％）	30.7	26	22	I
LDL-コレステロール 180mg/d l 以上の人の割合（％）	3.9	3.7	3.5	I
血糖コントロール不良者（HbA1 c 8.0％以上）の割合（％）	1.0	0.9	0.8	I
高血圧の人（Ⅱ度高血圧以上）の割合（％）	4.1	4.0	3.9	I

基本施策2 生活習慣の改善、生活機能の維持・向上

目指す姿

適切な生活習慣が身についており、自分らしい充実した生活をする人が増加しています。

1 身体活動・運動

○気軽に運動できる機会づくりに取り組みます。

○運動習慣の必要性や安全で手軽にできる運動の方法について普及啓発に取り組みます。

数 値 目 標		現状値	中間値	目標値	目標設定 の考え方
運動習慣者の割合（1回30分以上、週2回以上） （％）	40～64歳	32.2	35	38	I
	65～74歳	47.9	49	52	I
運動習慣者の割合（週1回以上）（％）	75歳以上	73.4	75	78	III
骨粗しょう症検診受診率（％）		1.9	2.2	2.5	III

2 休養・睡眠

○適度な睡眠や乳幼児期からの生活リズムの重要性についての普及啓発に取り組みます。

数 値 目 標	現状値	中間値	目標値	目標設定 の考え方
睡眠で休養が取れている人の割合（％）	74.8	76	78	II
「朝7時までに起床する」幼児の割合（％）	65（R4）	68	70	II
「朝7時までに起床する」小学生の割合（％）	86（R4）	88	90	I
「夜9時までに就寝する」幼児の割合（％）	26（R4）	28	30	I
「夜9時までに就寝する」小学生の割合（％）	20（R4）	23	25	II

3 飲酒・喫煙

○飲酒や喫煙が健康に与える影響や適量飲酒、受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発に取り組めます。

数 値 目 標		現状値	中間値	目標値	目標設定 の考え方
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している 人の割合（％）	男性	12.3	11	10	III
	女性	11.5	11	10	III
喫煙率（％）		13.7	13	12	III
妊婦の喫煙率（％）		1.7	減少	0	III

4 歯・口腔

○関係機関と連携し、むし歯や歯周病の早期発見・早期治療につながる定期的な歯科検診を推進します。

○オーラルフレイル予防など歯と口の健康についての正しい知識の普及啓発に取り組みます。

数 値 目 標	現状値	中間値	目標値	目標設定 の考え方
歯周病を有する人の割合（％）	68.8	67	65	III
よく噛んで食べることができる人の割合（％）	80.1	82	84	III
3歳児歯科検診のむし歯のないこどもの割合（％）	91.5	増加	増加	III

5 栄養・食生活

○適切な体重を維持し、食事の質や内容、規則正しい食生活の重要性に関する知識を身に付けるため、様々な機会を通じて情報を提供し、望ましい食生活を実践・継続できるよう支援します。

数 値 目 標	現状値	中間値	目標値	目標設定の考え方
児童における肥満傾向児の割合（％）	11.3	11	10	I
BMI20以下の高齢者（65歳以上）の割合（％）	20.8	19	17	Ⅲ
朝食を欠食することが週3回以上ある成人の割合（％）	13	12	10	I

基本施策3 食育の推進

目指す姿

食育への関心が高まり、朝食を食べる人が増加しています。

1 家庭・地域・教育・保育における食育の推進

○家庭・地域・関係機関と連携して、幼少期からの「早寝・早起き・朝ごはん」を推進します。

数 値 目 標	現状値	中間値	目標値	目標設定の考え方
朝食を欠食する幼児の割合（％）	1.8（R4）	1.5	1	I
朝食を欠食する小学生の割合（％）	3.4	3.0	2.5	I
朝食を欠食する中学生の割合（％）	10	7	4	Ⅲ

2 地産地消・食文化伝承の推進

○食材の産地などへの関心を育む機会づくりや、地産地消の普及啓発に取り組みます。

数 値 目 標	現状値	中間値	目標値	目標設定の考え方
地元野菜を使った小学校給食の実施（校）	10	10	10	Ⅱ
大野城市の郷土料理の小中学校給食での提供（校）	15	15	15	Ⅲ

基本施策4 健康づくりを支える環境の整備

目指す姿

健康づくりを支える環境が整い、健康づくりに取り組んでいる人が増加しています。

1 自然に健康になれる環境づくり

○健康づくりのきっかけとなる環境整備を推進します。

○健康づくりに関する周知啓発・情報発信に努めます。

数 値 目 標	現状値	中間値	目標値	目標設定の考え方
健康ポイントを付与した人数（人）	1,774	3,323	4,523	Ⅲ

2 社会とのつながり・こころの健康

○地域とのつながりを保つための機会づくりを支援します。

○一人で悩まず、気軽に相談できる体制づくりを推進します。

数 値 目 標	現状値	中間値	目標値	目標設定の考え方
自殺死亡率（人口10万対）5年平均値	12.8	10以下	10以下	Ⅲ
いずれかの社会活動（就労を含む。）を月1回以上参加している高齢者の割合（％）	56（R4）	58	61	Ⅲ